

廃止発電所写真集

廃止発電所シリーズ 1 3

和歌山県有田川町「修理川発電所（第一）」編

諸元一覧表

発電所所在地	和歌山県有田川町大字修理川	備考
発電所名	修理川（第一）	
水系河川名	有田川水系有田川 （2級河川区間）	
事業者	明治43年3月 南海水力電気	
事業者変遷	昭和17年4月 関西配電	
廃止年	昭和35年3月	
廃止理由	昭和28年水害	
最大出力（kW）	200→390	
最大使用水量（m ³ /s）	10.0	出力と不整合
落差（m）	20.1	〃
位置情報	松原橋上流	

「関西地方電気事業100年史」：S62.10 より抜粋

以下、ブログより

シリーズ 12 でご紹介したとおり有田川には現在 2 箇所（関電三田発電所、町営二川ダム維持発）がありますが、かつては数か所水力発電所がありました。
今回はその一つの「修理川発電所」をご紹介します。

修理川発電所は明治 43 年 3 月に南海水力電気が建設しています。

有田川町の修理川合流点下流に取水堰堤を設置して導水路トンネルにて下流約 1 k m 導水し、最大 390 k Wを発電していました。

水害により昭和 35 年 3 月に廃止となっていますね。

上流の川口発電所も同時期に廃止されています。

ここも謎が多い発電所ですね。

発電所の構造や水車の型式などです。

諸元は「関西地方発電事業百年史」によると、最大出力 390kW、最大使用水量 10.00m³/s、有効落差 20.10m です。

これ見ると??となりますね。

$P=9.8QH\mu$ なので、 $Q=9.8\times 10.00\times 20.10\times 0.8$ （仮定） $\div 1,600kW$ ですわ。。？

百年史の 390kW と乖離し過ぎている。。

取水堰堤の左岸辺りには残骸がありました。

導水路トンネルの入口がどこにかは確認できませんでした。。。

導水路の内部に入ることは出来ましたが崩落はしていないようでした。

発電所は謎です。

水害によりすべて流失したようで、辛うじて放水口を確認できました。

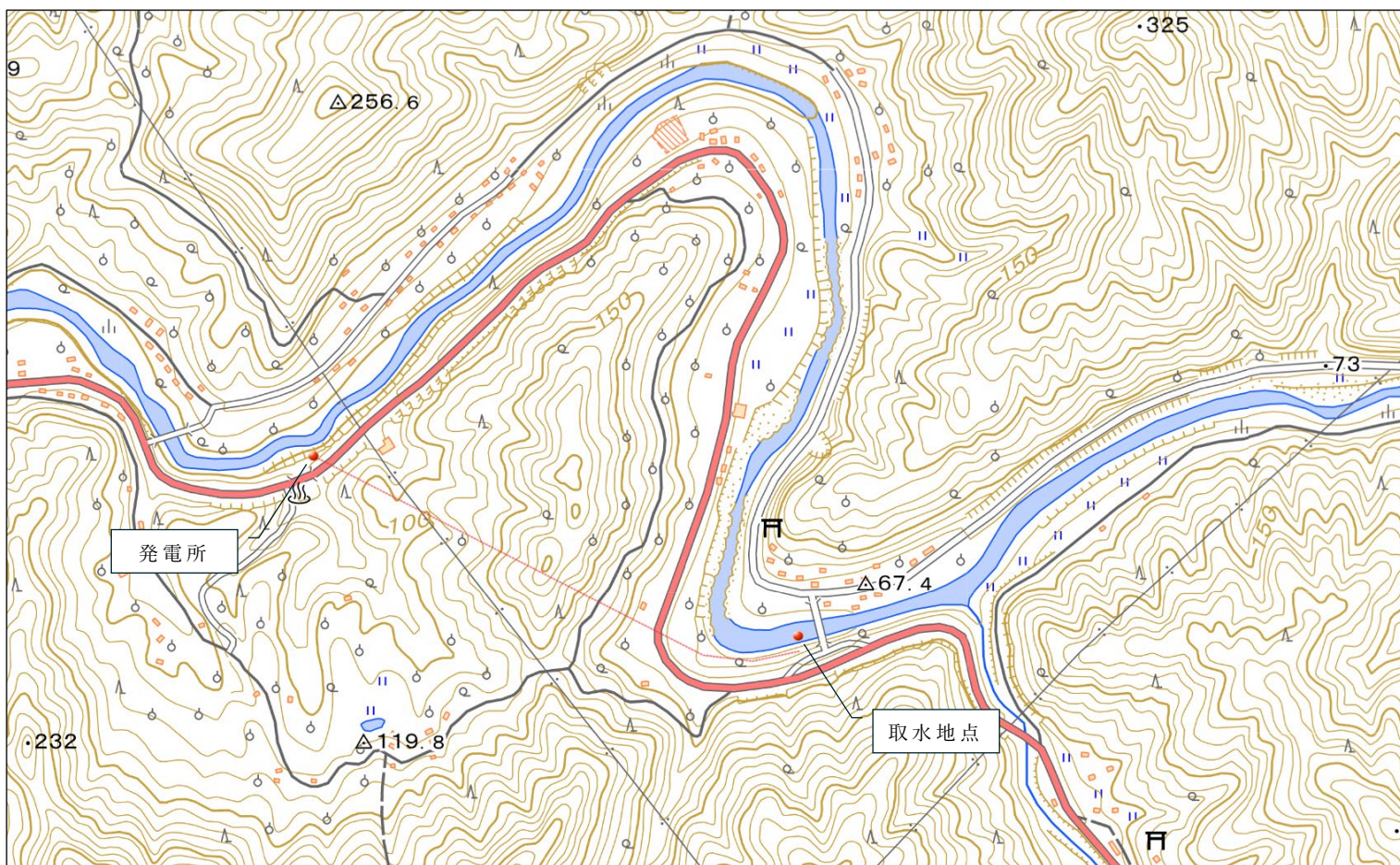
また、導水路トンネルも健全！

ここを再生するには地域の方々のご協力が必要でしょう。

推定位置図



推定ルート図



以下 取水堰堤跡

前川橋下流左岸 跡形なし

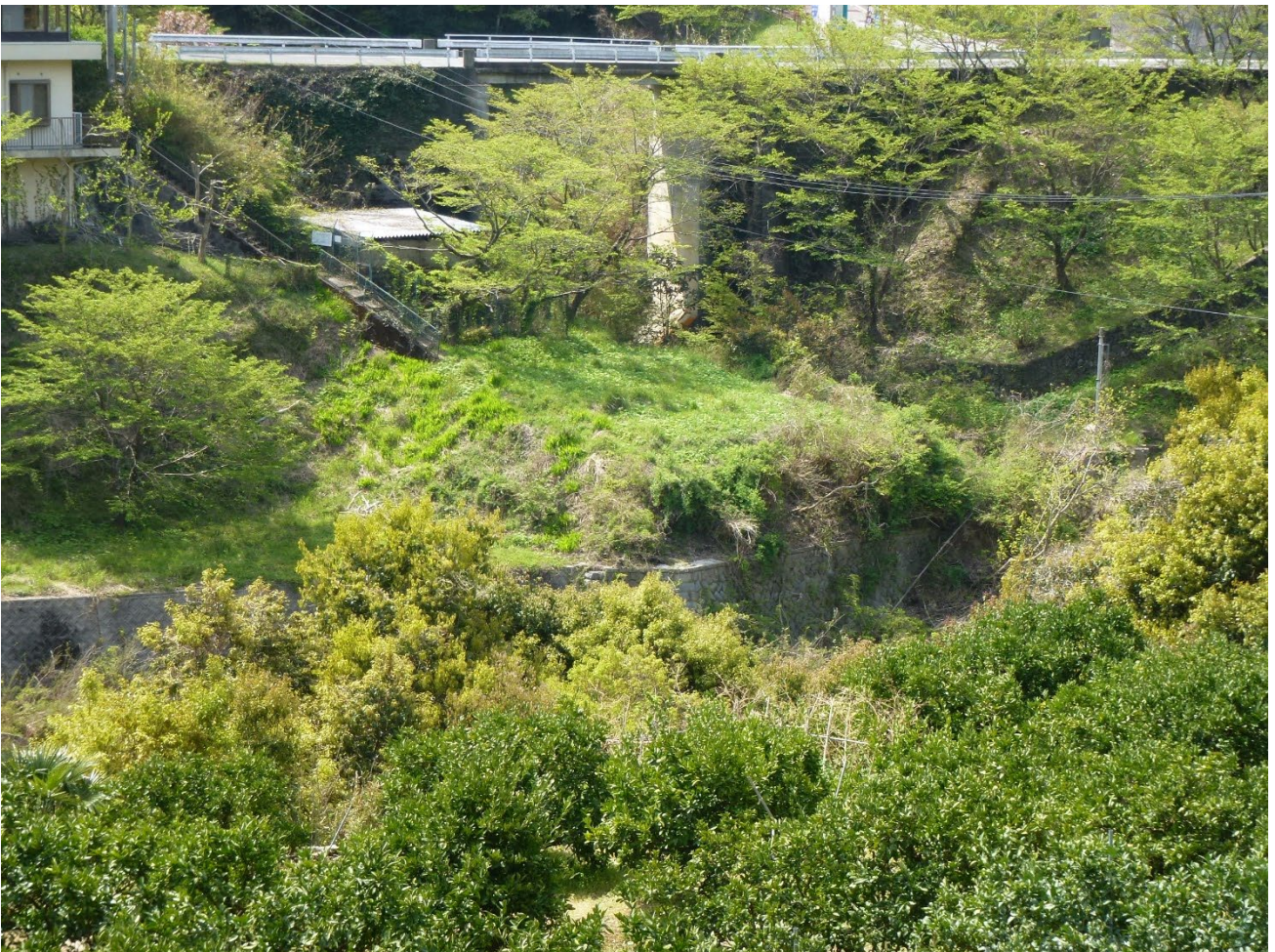


導水路跡



以下 水槽～発電所跡

右岸側より



以下 左岸側より



飲料水供給施設に活用







以下 水槽内部



導水路入口









放水口跡

